

平成31年度 事業計画書

特定非営利活動法人
ディープデモクラシー・センター

I. 平成31年度の重点方針

当法人の5年目の年度となる平成31年度は、これまで活動をベースにし、あらたなステップのはじまりの年ととらえて、下記の重点方針のもと活動を進めてまいります。

1. 特定非営利活動法人として運営基盤の強化

特定非営利活動法人としての運営基盤の強化を最優先とし、円滑な運営体制の実現を目指し、理事体制＝事務局体制のさらなる安定化を進めるべく、ICT等を活用した緊密な連絡網、情報提供網の構築をすすめていきます。

2. 支援の現場づくりのさらなる推進、支援者の育成

生活困窮者支援、路上生活者支援、障がい者の場づくりなど、前年度に展開してきた支援の現場をさらに強化していきます。今年度はさらに、そこに関わる人材の育成にも注力していきます。

3. 福祉サービスの実施

視覚障害者（児）の外出支援（＝同行援護）、松戸市・介護予防・日常生活総合支援事業（元気応援サービス）にくわえて、知的障害者（児）の外出支援（移動支援）を実施していきます。

4. 県南における活動の本格化

県南部におけるあらたな拠点「里山オフィス」を活用し、県南地域における活動を本格化させていきます。

5. 財政基盤の強化

当面は、積極的な対外アピールによる会員拡大を図り、定財源の強化をめざします。併せて、将来の財源強化策として、都道府県からの業務受託・請負事業の獲得や自主事業による収益拡大ができる体制作りを検討していきます。

II. 平成30年度の事業活動（平成30年1月1日～12月31日）

1. セミナー、講座等の開催

ときわだいらくらしlabo

常盤平地区をベースに、地域共生社会の実現に向け、勉強会を開催します。

連続講座「路上生活者支援講座」

4～5回（東葛、県央地域）10～15名

路上生活者、生活困窮者の支援者に必要な知識、技術を連続して学べる講座を開催します。法律・制度、権利擁護、調査・フィールドワーク、実際のケースを題材に実践的に習得していただきます。

2. 地域サロンの運営

まちの縁側・陣屋前や、コムスポときわだいら、まちの縁側・パソコンとおしゃべりなど、地域サロンの運営をしていきます。

Ⅲ. 平成31年度の運営

1. 理事会

第1回通常理事会

開催日時 平成31年5月（予定）

第2回通常理事会

開催日時 平成31年9月（予定）

第3回通常理事会

開催日時 平成31年11月（予定）

第4回通常理事会

開催日時 平成32年2月（予定）

Ⅳ. 会員の状況

正会員	14名
一般会員	18名
賛助会員	0名